



《R8 新規事業》 勘と経験から、データ駆動型企業への変革を支援！ データドリブン経営実践プロジェクトの募集を開始します

岡山市では、中小企業において中長期的な成長・変革の基盤となる「データに基づく意思決定体制」の構築を支援するため、専門コンサルタントチームによる8カ月間の集中伴走支援事業「データドリブン経営実践プロジェクト」の募集を開始しました。

1 内容

(1) セミナー兼事業説明会

既存データが経営判断に活かされていないことで生じる粗利流出、機会損失等、中長期の企業成長におけるデータドリブン経営の重要性を徹底解説します。また、データ活用に必要な思考力を養う仮説検証型のワークと、支援事業の説明を併せて実施します。

日 時： 令和8年7月7日(火) 14時～16時30分
会 場： 杜の街グレース 大会議室ホールE（岡山市北区下石井2丁目）
定 員： 30名程度

(2) 伴走支援(令和8年8月～令和9年3月)

経営層と現場が共通の指標(データ)に基づいて判断を行うデータ駆動型の企業に変革することを目的に、8ヶ月間の伴走支援を通じて、既存の会議体を「数字の報告」の場から「要因分析と対策」の場へと再設計します。

【伴走支援の内容】

- 内外環境分析に基づく経営課題の特定
- 課題に関連する業務の把握・取組テーマ選定
- データ可視化～分析～改善サイクルの実施
- ロードマップの策定

(3) 事例報告会

時 期： 令和9年3月頃
内 容： 取組の成果だけでなく、課題設定の過程、現場で直面した壁、改善サイクルを回す中で得られた学びなどを共有します。



2 支援対象者・支援事業者数

対象：岡山市内に本社を有する中小企業

支援事業者数：2社

3 申込方法・申込期限

申込方法：下記(1)(2)ともにWebフォーム(市HPから遷移)

申込期限：(1) セミナー：令和8年7月3日(金)

(2) 伴走支援：令和8年7月15日(水)



<市HP>

4 その他

多くの中小企業では、日々の業務の中で多くのデータ(情報)が蓄積されています。一方で、これらのデータは部門ごとに分断されていたり、特定の担当者の経験や勘に依存して管理されていたりと、経営判断に必要な情報が十分に可視化されず、データを企業の資産や武器に変えられていない現状があります。

岡山市ではこれまでデジタル化に取り組む企業を支援してきましたが、本支援は単なるITツール導入とは一線を画し、データを起点として経営課題を捉え、経営層から現場までが共通の指標に基づき意思決定と改善を繰り返す、変化に強いデータ駆動型企业への変革を目指すものです。

【受託先】

株式会社日本総合研究所(東京都品川区東五反田二丁目18番1号)

【問い合わせ先】

岡山市 産業振興課 高村・山本 直通086-803-1329 内線4512

『勘と経験』から、 データに基づく 意思決定へ。



10年先も成長し続けるための 「データドリブン経営実践プロジェクト」

専門コンサルタントが
あなたの会社の「現場」に入り、
データに基づく改善の仕組みを
共に構築します。

本事業の3つの特徴

01

現場密着型の伴走支援

経営層だけでなく、工場や
店舗等の現場視察、現場社
員とのワークショップを通
じて、実態に即した課題解
決を図ります。

02

支援終了後の自走重視

ツール導入が目的ではなく、
支援終了後もデータに基づ
く改善サイクルを自社で回
し続けられる「型」を定着
させます。

03

高度なツールは不要

まずは使い慣れたExcelや既
存のツール等を用いること
により、より多くの分析～
改善～評価のサイクルを繰
り返します。



募集概要

対象企業	岡山市内に本社を置く中小企業
支援社数	2社 （5社を超える申込があった場合、 必要に応じて書面審査を行います。）
応募期間	2026年6月15日(月)～7月15日(水)
費用	無料 ※ソフトウェアライセンス料等の実費は企業負担

こんなお悩みに

- 数字で現場が見えない
- 粗利の流出要因が分からない
- データはあるが活かさない
- 改善が属人的で続かない

まずはセミナー兼事業説明会へご参加ください！



セミナー等の申込・事業詳細はこちら →

■上記以外のアクセス：岡山市HP(<https://www.city.okayama.jp/>)
⇒ページ右上の記事ID検索に「82990」と入力し検索



裏面では、セミナー兼事業説明会と8ヶ月間の支援プロセスをご紹介します。⇒

セミナー兼事業説明会（申込締切：7月3日）

参加
無料

テーマ：『見えない損失』に気づける会社になる

～勤と経験を、利益につながる意思決定に変えるデータドリブン経営～

日時： 2026年7月7日(火)14時00分～16時30分

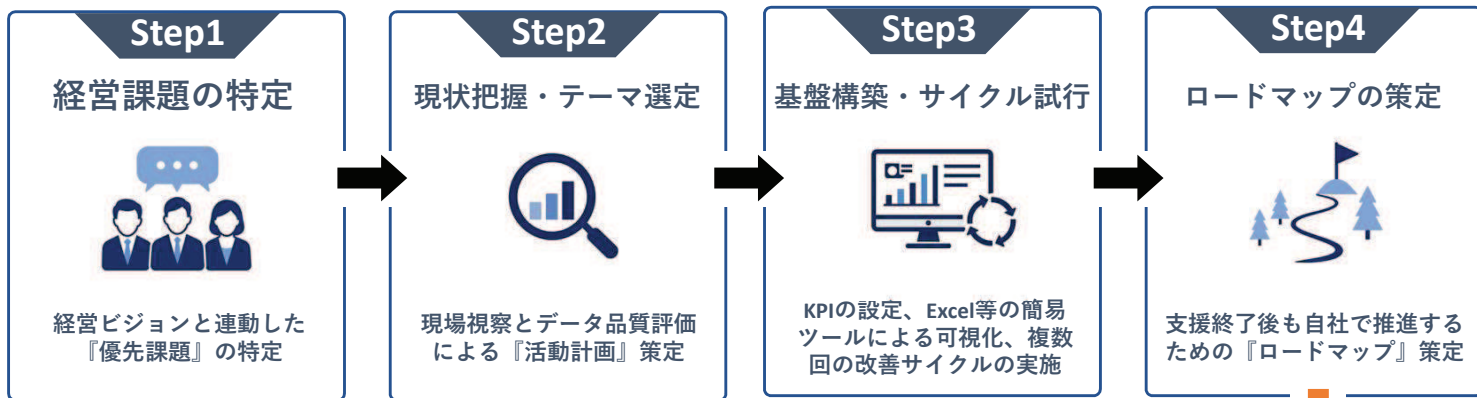
場所： 杜の街グレース 貸し会議室ホールE

定員： 30名程度

- 内容：
- 基調講演：既存データが活かされていないことで生じる「粗利流出」や「機会損失」、データ活用で組織が変わった成功・失敗事例など
 - ワークショップ：データ活用のフレームワークを用いた仮説検証型のワークを行い、思考力を養成。
 - 事業説明：支援内容、実施スケジュール、応募方法、選定基準などをわかりやすく説明します。



8ヶ月間の伴走支援プロセス（2026年8月～2027年3月）と事例報告会



データドリブン経営の5つの壁

見えない (データが散在)	向き合わない (勤と経験を優先)	実行できない (改善案が出ない)	付いてこない (やらされ仕事感)	足りない (型や知見の不足)

本事業では、これらの壁を現場伴走で一つずつ越えていきます。

2社による事例報告会

時期： 2027年3月頃

場所： 未定（岡山市内）

内容： 取組前の経営課題、活用したデータ、試行錯誤や失敗、現場や経営層を巻き込む工夫、改善効果 など

専門家チーム

<委託先> 株式会社日本総合研究所

戦略策定・データ分析/利活用・業務改善の専門家によるチームが現場に入り、変革に向けて強力にリードします。

支援企業選定のポイント（重視する点）

- 経営層の「変革に対する熱意・コミットメント」
- 経営層～現場を含めた部門横断の推進体制の有無
- 課題の典型性（属人化や在庫/顧客管理等）
※地域への波及性

お問い合わせ

主催：岡山市産業観光局 商工部 産業振興課 担当：山本・宗田・藤本
TEL：086-803-1329
E-Mail：kougyoushinkou@city.okayama.jp

※本事業「データドリブン経営実践プロジェクト」は岡山市より委託を受け、(株)日本総合研究所が運営しています。